



“ほっと”なネットワーク

かんちゃん通信

イマジネーション号

第19号

2022年10月15日発行

2022年 春から夏のかんちゃんの小さな家の様子をスケッチしてみました ♪
～ホットルーム（多文化共生・地域交流）・学習サポートの活動を中心に～

“なかよしの家”

小学校3年生のお友だち

「いろいろな動物がいて

なかよしになれる家だから」



なかよしの家に住んでいるのは(^_^)

ぶた・うし・チンパンジー・カメレオン・くま・
シャケ・どんぐり・いろいろな人形・シーサー・
さかな・モアイぞう・・・

昨年・今年 新しい動きが！

～利用者さんの“思い”を受けて～

◇相談ルームにいられたお母さんからの依頼で、初の試みとして「夏休みかんちゃん塾」を4日間の日程で行いました。（夏休みの宿題をしたり、遊びやいろいろな体験をしたり・・・）◇また、今春から、毎週1回・午前中の1時間、時をともにしている中学生に関わって、校長先生から“フリースクール”として位置づけられました。かんちゃんの小さな家にとって新しい動きが芽生えてきました。◇「人と出会うのが不安」という若者と保護者さんのニーズをうけてスタートしている“アウトリーチ（訪問）型の学習サポート”は、今年で2年目に入っています。

◇学習サポート教室（かんちゃん塾）を立ち上げて7年目になります。今年も10名前後の子どもたちが学んでいます。

この夏のある日のこと・・・「今日は工作をする」と言って、小学3年のお友だちが、部屋中を探し始めました。同じ形をした小さな板を見つけて、うれしそうな表情で「家を作ろう」とつぶやきました。すぐにイメージができたのか、どんどん組み立てていくと、家の形が見えてきました。

◇「ここを卒業した人が、いい物くれたよ」と、キーホルダーや小さな飾りや小物がいっぱい入っている箱を見せると、目を輝かせて見えました。やがて、自分が作った家に住む動物たちをどんどん見つけて、どこに住まわせて、どんな飾りをつけようかと、楽しそうに作業を続けました。

◇（翌週のこと）・・・勉強を終えてから、先週の続きを始めました。前回、見つけておいた物をどんどん付けていき、「これでいい！」と納得できる家が完成しました。「題名は何？」と聞くと、「いろいろな動物がいて、なかよしになれる家だから」と言って「なかよしの家」と書きました。「ママに見せよう」と、とても満足気な顔をして持ち帰りました。

*家に帰って色を塗ったり、「改造」したりして、最後は“貯金箱”になりました。

（「学習スタッフの手記」より）



“夏バージョン”のかんちゃんの小さな家・・・今年もゴーヤカーテンとヨシの日よけが活躍しました♪

(2)

私の居場所 春から夏 かんちゃんホットルームより

アフリカ布を選んでいきます♪

ヨシ灯り・・・形が
できてきました♪

“世界と出あえる すてきな入口に・・・♪”

ワークショップやあそび村、
アフリカの布を使ったしおり作りの活動等をとおして



“住んでいる地元を知るきっかけに・・・♪”

地元の食材を使った“炊込みご飯”、
西の湖のヨシを使ったクラフトをとおして

今年の夏は、新型コロナの感染が拡大してきた時期でしたが、感染防止対策のもとで、安土コミュニティセンターの広い大ホールを会場に開催してきました。お昼の食事は“テイクアウト”で、お家で食べてもらっています。参加者の皆さんの協力によって、「安心して楽しく過ごせる居場所」として活動を続けています♪一日も早く、食文化の交流を再開したいですね。

第59回 4月	ワークショップ：世界一周旅行ゲーム 41人 お昼：地元の食材を使った炊込みご飯・おやつ
第60回 5月	あそび村(パート7) 35人 お昼：カップ麺・レモンゼリー
6月	お休み月
第61回 7月	ワークショップ：アフリカの布でしおりを作ろう 34人 お昼：ホテル・ニューオウミさん特製の「ロコモコ丼」
第62回 8月	ヨシ灯りや地元のヨシを使ったクラフト 26人 お昼：カレーパン・メロンパン・ジュース
第63回 9月	ダンボールでボンゴ(太鼓)を作ってリズムあそびを楽しもう♪ 45人 ・・・内容は、次号で紹介します。

「いろんなくにのあいさつを おぼえて、うれしかったです。」

～世界一周旅行ゲーム～

4月



ファシリテーターの大森容子さん(滋賀県国際協会)、ありがとうございました♪



身の回りのもので海外から来たものを探してみよう♪
これは、どこの国から？

8つの国のそれぞれの情報(①国の名前②あいさつ③食べ物④輸出入品)のカードを4枚一組になるように選びます。



わかったものを付箋に書いて、世界地図に貼り付けていきました。



カードの組み合わせがあっていたら、パスポートシートにシールを貼ってもらえます。今回は、民生・児童委員さんがパスポートを確認する「職員さん」に♪



参加者の感想は、4ページです。

「アフリカの布は、とってもかわいくて ワクワクしました。」



ワークショップ アフリカの布でしおりを作ろう♪

みんなの声

- アフリカの動物のことが知れてよかったです。しおり作りも楽しくて、アフリカが少し身近に感じられました。
- 知らなかった動物の話聞いておもしろかったです。動物クイズがあって楽しかったです。
- きれいな布などをさわったり、使ったりして楽しかった。
- ねこがすごく大きくて、ねこのしおりをつくれてうれしかったです。
- アフリカの布のしおり作り楽しかった。大事にしていきたいです。ぼくもアフリカに行きたいです。



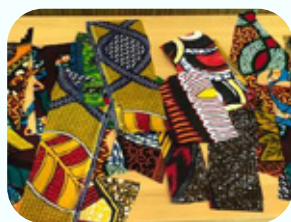
おとなの皆さん

- ◇アフリカの現状、自然破壊、様々な問題を私たち人間が起こしていることがわかりました。クイズやしおり作成、子どもとのふれあい。楽しい時間をありがとうございました。
- ◇アフリカ布は、今まで知らなかったけど、派手な色合いなど素敵でした。作ったしおり使います！コロナ流行のなか、開催していただきありがとうございます。ロコモコ丼ありがとう。
- ◇裏返してみるまでは、どんな模様なのかわからないところがおもしろかったです。

“しおり”を見てアフリカを思い出してくれるとうれしいです♪

～ファシリテーター 桂 武邦さん（JICA 関西：国際協力推進員）～

みんなと一緒に動物について考えたり、アフリカの布を使ってしおりを作ったりと、とても楽しい時間でした！かわいくておしゃれなオリジナルしおりがたくさんできましたね。



（アフリカ布について）アフリカ布の特徴は、何といてもその色鮮やかさ！まぶしい程のビビッドな色が組み合わさっていて、見るだけで元気になれる気がします。

現地では、服として使われることが多く、布を仕立屋さんに持って行ってオーダーメイドで服を作ってもらいます。アフリカの方々はとても上手に着こなし、太陽に照らされた色鮮やかな服はとってもきれいです。

日本からだ距離が遠いため、なかなか知ることができないアフリカについて、日常的に使われている布を使って、アフリカで見られる動物の形のしおりを作ることで、少しでも身近に感じてもらえたら♪と思ってプログラムを考えました。

本を開く度に、アフリカを思い出してくれるとうれしいです！

とってもおいしかったね！・・・お昼のテイクアウト♡



工房安土夢（アンドーム）さんの地元の食材を使った「炊き込みご飯」♪
（4月）



ホテルニューオウミさんのロコモコ丼♪今回の交流会のテーマが「アフリカ」とお聞きしたので、ハワイ料理のロコモコ丼に決めました。「“あったかい”つながり」ですよ♪（料理長さん談）（7月）

(4)

「ヨシの工作をやってみて楽しかったし 想像がいっぱいできた！」

8月

「アットホームな楽しい空間って大切ですね」

～地元のヨシを使った
クラフト～



- ヨシを使って工作することはないので、貴重な体験でした。また作ってみたい！
- 最初は、何をどう組み立てたらいいのか、なやみましたが、組み立ててみたりすると楽しくなってきました。
- ヨシで風車を作れてたのしかったです。
- ヨシの工作をやってみて楽しかったし、想像がいっぱいできた。正直、もう一回作りたい！
- ◇よし灯りを通して、初めて「かんちゃんの小さな家」を知りました。
- ◇工作なんていつのことだったか？でも、気づけば子どもも集中して作っていました。とてもいい経験になりました。アットホームで、雰囲気もよく楽しかったです。

初登場！「インド式カロム 教えてもらってとても楽しかったです！」

～かんちゃんあそび村（パート7）～

5月



- ◇彦根で盛んなカロムが、インドやアジアで親しまれていると聞いてびっくりしました。楽しかった♪
- ◇家にもカロムがほしいと言われそうです。

- ビーだまゲーム、1こしかのこらなったよ！
- コマを回せなくてぎんねんだったけど、いろんなことができて楽しかったです。
- ◇なつかしい遊びがたくさんできました。

「肉をくしにさしたシュラスコ ぼくは、一回でもいいから生きているうちに食べたい！」

～世界一周旅行ゲーム～（2ページからの続きです）

みんなの声

- 日常的に使う物が、たくさんの国から来るんだということがわかった。
- 近江八幡におおくの外国人がいることを知りました。
- いろいろなことを学びました。日本では、自動車が海外への輸出品だということがわかった。イタリアは、パスタ、ピザは、家でよく作るものだとわかった。ブラジルでは、肉をくしにさしたシュラスコ、ぼくは一回でもいいから生きているうちに食べたい！



おとなの皆さん

- ◇ゲームは、よく知らない国ほど考えるのが楽しかったし、いろんなことが知れてよかったです。子どもたちも、「全部そろったー」とうれしそうでした。
- ◇近江八幡市でベトナムの方が一番多くいらっしゃるって、40ヶ国もの多様な国の人と、ともに住んでいることを初めて知りました。交流してみたくまりました。

「互いに興味をもち、想像をふくらませながら
“ふれあっていく時間”って、すばらしいですね！」

2022年夏
かんちゃん塾のお友だち

「みんなのねがいごと」

自分の願いごとを短冊に書きました♡



- ♡ (ぼくのユーチューブが) 人気になれるように
- ♡ 陸上の大会で、1位から3位がとれますように
- ♡ サッカー選手になって活やくし、お母さんに恩返ししたい。
- ♡ パパの仕事で外国に行きたいです
- ♡ 絵が上手になれるように
- ♡ にじのケープをとれますように
- ♡ 大きなゆめになりますように
- ♡ コロナ 第7はがきませんように
- ♡ めっちゃあそべますように
- ♡ お金持ちになれるように



教室のホワイトボードにある模造紙に、自分の好きな位置に短冊を付けていきました。

勉強に来た子どもが、「自分の願い」を短冊に書きました。すると、次に来た子どもが、それを見て、自分も書いたり飾りをつけたりしました。このように、直接に出会うことのない子どもたちが、「願いごと」を見て、「絵、上手やなあ」「同じ6年やなあ」「恩返してすごすなあ」など・・・、互いに興味をもち、想像をふくらませながら“ふれあっていく時間”って、すばらしいと感じました。（「学習スタッフの手記」より）



かんちゃんの小さな家と 子ども・若者の居場所

この春から夏にかけて、各種研修会の講演や人権啓発DVD「今こそ支えあって」を通して、「かんちゃんの小さな家の活動」を紹介する機会がありました。そのとき、多くの皆さまから、感想やメッセージをいただきました。実に様々な角度からのご指摘・・・とてもありがたく思っています。今後、皆さんとともに考えていきたいと思えます。ご意見をお待ちしています。

◇「居場所」を確保するという事は、物理的な居場所の確保だけではないことを実感しました。

◇素敵な場所ですね。パートナーシップ、一緒にするという事の大切さを改めて感じました。いろんな活動をされていますが、活動を広げるのではなく「小さな家」であってほしいと感じました。

◇「かんちゃんの小さな家」は、成長中なんだと思いました。ただ、ボランティアで思うようにすすめていくのは難しいのでは・・・もっと大きな組織や行政の助けが必要なのかなと思いました。

◇「かんちゃんの小さな家」のような存在、学校と家庭との間にある「居場所」を必要としている子どもがたくさんいると実感しています。

◇私は、一人の子どもの母親で、大きなことはできません。でも、自分の子どもの居場所を作っているのかな？と考えるいい機会になりました。自分の居場所についても考えることができました。

◇子どもへのかかわり方について、改めて考える機会になりました。特に「内なる思いをとことん出せる場が、次の一歩を踏み出す原動力になっている」というところに感銘を受けました。職場で、共有したい内容です。

相談ルームのご案内

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてください！

相談スタッフ

- かんちゃん (かんちゃんの小さな家代表
・スクールソーシャルワーカー)
- まりこさん (親子をつなぐ学びのスペース
・リレイト代表：京都市)

11月 5日(土) 13:00~17:30

12月 7日(水) 13:00~17:30

- ◇定例日以外は、個別に相談に応じます。
- ◇保護者・支援の方の相談も可(要予約)
- ◇事前のお問い合わせ先 (かんちゃんの
小さな家携帯090-3708-3315)

学びのご案内

スクールソーシャルワーク研究会しが主催

子ども支援(ケース)学習会

第58回学習会 11月5日(土)

第59回学習会 1月14日(土)

(いずれも会場・時間は同じです)

- ◇会場 かんちゃんの小さな家
- ◇時間 10:00~12:00
- ◇事前の申し込みが必要です



「かんちゃんの小さな家 友の会」

入会 よろしくお願ひします

個人会員 1口2,500円・団体会員 1口10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座

振込先銀行 滋賀銀行 安土支店

口座種別 普通 口座番号 403489

口座名称 かんちゃんの小さな家
代表 佐子 完十郎

※次号「第20号」は、2月の発行予定です！

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

<https://kancyan-house.com/>

交流会のご案内

第64回かんちゃん
ホットルーム

11月19日(土)

10:30~12:15

会場 安土コミュニティセンター

参加費：子ども100円・おとな300円

◇ワークショップ

手作りスタンプでマイバックを作ろう
～消しゴムはんこ 作って押して♪～

◇コーディネーター 伊藤真希さん(長浜市)



第65回かんちゃんホットルーム

12月17日(土)

10:30~12:15

会場 安土コミュニティセンター

◇「ポッチャ」のお話とゲームを体験しよう

せせらぎ (編集後記)

◇「みんなと おなじが いいのかな？ そんなことも、ちょっと おもって みたわ。だけど、わたしは、あかねこ。そのままの じぶんが よかったの。」(『わたしは あかねこ』文溪堂:8ページより引用)この絵本は、先月、「水平社博物館」を訪れたとき、「人間の尊厳を求め水平社の理念」という展示のコーナーで出会いました。さっそく取り寄せて、「かんちゃんの小さな家」の絵本コーナーに。◇「出会わなくてもコミュニケーションとれるよ。さみしくないよ。」という不登校のある中学生。「どうして？」と聞くと、「ゲームの中でしゃべれるから。」と応えてくれた。ともすれば、おとなは、ゲームの中での会話を否定的に見ていないだろうか。◇今回の「通信」5ページのような、「短冊に書(描)かれた願い」を、互いに見ながら「想像をふくらませ、つながっていく」子どもの世界、そして子どもの鋭い感性。それに対する想像力を膨らませねばならないのは、むしろ私をはじめとしたおとなの側ですね。(か)



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315 (代表 佐子) FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.net.jp

